

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

紙づくり体験と森のたんけん

一般社団法人 日本森林インストラクター協会(FIJ)関東支部 千葉地区委員 神子秀男

【事業のポイント】

1. 廃校された三島小学校の利用
2. 君津市で最も自然度豊かな地域を散策し、古い歴史の三島神社と、500年生の杉の古木が生育する鎮守の森の紹介する
3. 樹木の繊維で紙すき体験をして、森の大切さに気づく。

1. 事業の趣旨

(1) 趣旨

君津市の小中学校の統廃合が進む中で本校も昨年廃校になった小学校である。君津市の教育委員会から利用方法がないか私たちに相談があり、近くに三島神社を含む自然度豊かな場所がある事から今回の事業を実施した。プログラムとして当地の環境条件、今後の利用展開を考慮して午前中自然の散策、午後は紙作りの体験を計画した。
当地が公共交通機関がない事が欠点であるが、君津市でも最も自然度が高い場所であるので利用範囲は大きいと考える。

※「森のたんけん ビンゴゲーム」資料として添付

2. 実施概要

(1) 構成団体(運営体制)

(FIJ)関東支部—関東支部 一指導者グループ—旧・三島小学校(君津市生涯学習文化課)— 関東支部 一協力:千葉県君津市教育委員会 支援:千葉県森林インストラクター会

(2) 開催実績

月日	主な活動	摘要
9時30分	受付 検温 名札渡し アンケート作成	スタッフも全員検温
10時00分	オリエンテーション・アイスブレイキング・体操	
10時10分	三島神社散策出発	4班に分かれる
11時30分	三島小学校で昼食	分かれて昼食
12時00分	紙づくり体験実施	
14時30分	体験終了 アンケート作成	親に引き渡す
15時00分	解散	

(3) 具体的な取組の概要

・午前中4班に分かれ出発「森のたいけん ビンゴゲーム」をガイドに案内する

- ① 木の実、紅葉、鳥の声等を観察しながら三島神社まで散策
- ② 三島神社は500年生程度の杉の古木が生育する鎮守の森
- ③ 三島神社では、二等辺三角形を使い樹高測定。
- ④ 好天に恵まれ、森の美術館で風景を切り取りながら散策
- ⑤ 午後からの紙作りの知識として、広葉樹と針葉樹の説明を丁寧に行う

・午後 紙作り実習

- ① 5テーブルに分かれて、テーブルごとに器具とスタッフを配置
- ② リーダーから、紙作りの説明と、本日2種類の紙を作る事を聞いて実習の始まり
- ③ 紙の原料を溶かした原料液を、紙透の器具に流し込む。
- ④ 器具から外した紙の原料を、色々の方法で吸水し最後はアイロンで乾かし紙に仕上げる
- ⑤ ドロドロした原料から紙が出来る事に、子ども達の感動もひとしお

・終わりの会

- ① 本日の感想をアンケートに記入してもらう

3. 成果と課題

(1) 事業の成果と課題

・成果 コロナ禍の中で君津市に限定した募集で、集客が心配されたが15名の参加で終了した。

- ① 旧校舎の使用など君津市教育委員会の協力が得られた。
- ② 当日、君津市生涯学習文化課職員、周西公民館職員、袖ヶ浦市職員の参加があった。
- ③ 屋外の散策では、コロナ対策もあり4班(4人)体制でスタッフが付いて案内した。
- ④ 午後からの紙作り体験では、専門家の指導と器具で本格的な紙作り体験ができた

・課題

- ① 3回目の実施で、コロナ対策等受付の方法など改善出来てスムーズに行われたが、プログラム内容が多くなり全体の時間がタイトになった。
- ② 子ども達とゆっくり対話して指導する時間配分のプログラムが必要
- ③ 開催地が市街地から遠くなると、送迎する方の負担が増えるのでその対策が必要。

・アンケート

4. 団体プロフィール

・千葉県森林インストラクター会FIC 南総部会(神子)

FICの地域の部会として、清和県民の森のイベントを年間11回受託している。君津市では小学校のスクールミュージアム事業に10年前から参加し、毎年3校の出前授業を行っている。その他、東京大学千葉演習林の案内ボランティア、館山、鴨川等広範囲のFIC野外活動支援を行っている。

・三島小学校 君津市正木149

明治7年に設立された伝統校で、昨年廃校となった小学校。